

長崎県の 埋蔵文化財 ガイドブック

Chapter1

埋蔵文化財とは？

Chapter2

遺跡の保護と発掘

Chapter3

あなたのまちの遺跡

Chapter4

あなたのまちの埋蔵文化財関連資料館

Chapter5

長崎県埋蔵文化財センターの役割

埋蔵文化財保護行政の中核機関

東アジア考古学研究

埋蔵文化財を通じた地域支援

守ろう地域の宝！埋蔵文化財



長崎県には 21 市町あわせて約 3,800 の遺跡があります。

長崎市 : 286 遺跡
 佐世保市 : 506 遺跡
 島原市 : 102 遺跡
 諫早市 : 282 遺跡
 大村市 : 221 遺跡
 平戸市 : 330 遺跡
 松浦市 : 162 遺跡

対馬市 : 330 遺跡
 壱岐市 : 473 遺跡
 五島市 : 142 遺跡
 西海市 : 177 遺跡
 雲仙市 : 216 遺跡
 南島原市 : 148 遺跡
 長与町 : 23 遺跡

時津町 : 20 遺跡
 東彼杵町 : 67 遺跡
 川棚町 : 31 遺跡
 波佐見町 : 60 遺跡
 小値賀町 : 108 遺跡
 佐々町 : 19 遺跡
 新上五島町 : 79 遺跡

(平成 28 年度長崎県埋蔵文化財センター調べ)

遺構

長崎ならではの！をほんの少しご紹介します。



炉跡

(旧石器時代・福井洞穴・佐世保市)
 火を焚いた跡。岩陰を拠点に狩猟採集で暮らした人々の営みの証し。佐世保市には洞穴遺跡が数多く見つまっている。



しせきほ
支石墓

(縄文・弥生時代移行期・大野台支石墓群・佐世保市)
 古くはドルメンとも呼ばれた、墓穴の上に巨石をのせる墓制で、分布は九州西北部に限られる。



船着き場跡

(弥生時代・原の辻遺跡・壱岐市)
 中国大陸や朝鮮半島の最先端の技術が用いられており、東アジア最古の船着き場跡とされる。石積みで覆われた二つの突堤に挟まれる構造。

遺物



ひゃっかだいがただいけいせっき
百花台型台形石器

(旧石器時代・百花台遺跡・雲仙市)
 小型の台形石器の一種で、刃の部分の両端が突き出すような形状が特徴。槍先の左右に数個をはめ込んで使ったと考えられている。



てつか
鉄戈

(弥生時代・富の原遺跡・大村市)
 中国由来の武器で銅製に比べ鉄製は数少ない。甕棺の中に供えられていた。九州北部勢力の影響下にあったことがうかがえる。



てつはう

(鎌倉時代・鷹島海底遺跡・松浦市)
 元寇の際、伊万里湾に沈んだ元の軍船付近から出土。絵巻にも描かれた兵器。内部には炸裂時の攻撃力を高めるため、磁器の破片が詰められたものもある。

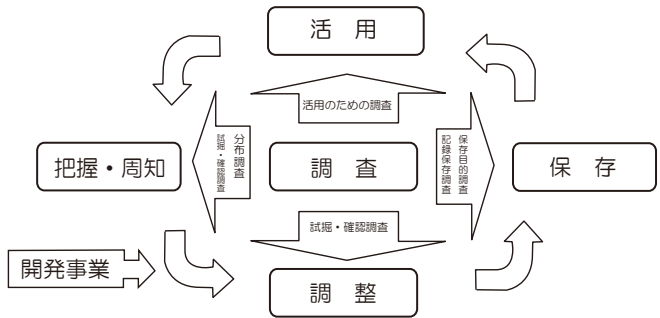
Chapter2

遺跡の保護と発掘

埋蔵文化財を保護するということ

埋蔵文化財を法的に保護する行政での活動は4つの段階にまとめられます（文化庁2010『発掘調査のてびき』）。

埋蔵文化財の存在を調べる「**把握・周知**」、工事等開発計画との「**調整**」、遺跡を現状のまま保存したり、あるいはやむをえず壊される前に記録する「**保存**」、遺跡整備やまちづくり等のために利用する「**活用**」の4段階です。



(文化庁2010「発掘調査のてびき」より引用)

なぜ発掘するのか？

埋蔵文化財を保護するためです。

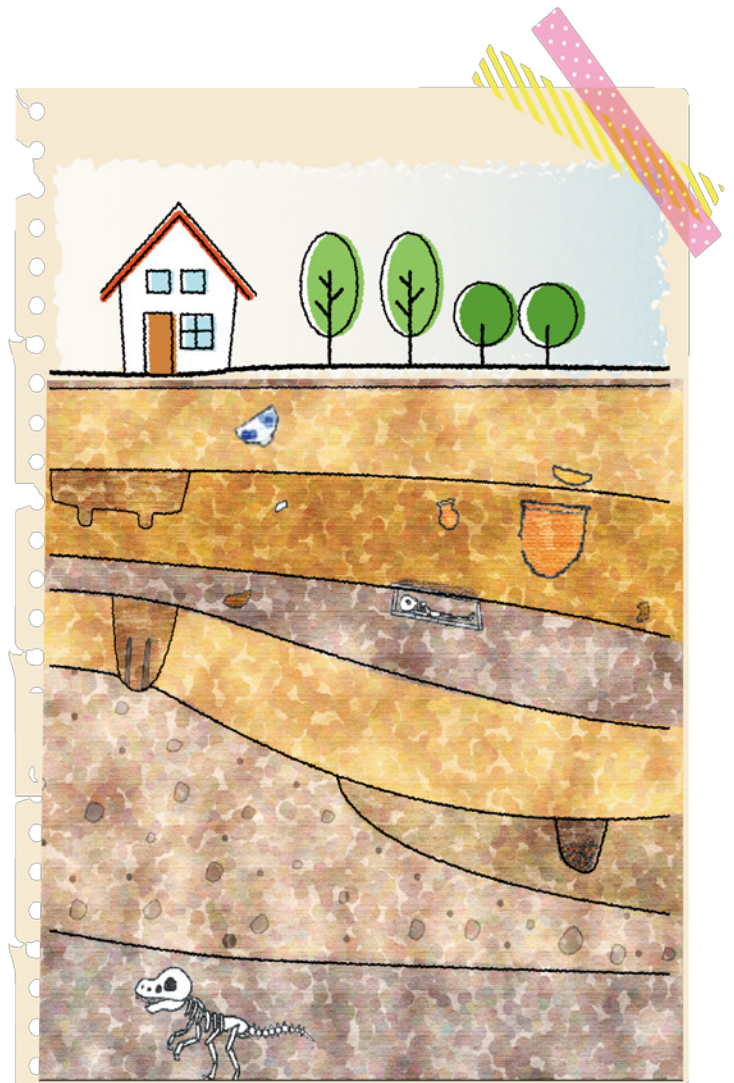
右上の図のように、埋蔵文化財保護の4段階でそれぞれ発掘調査が行われます。

埋蔵文化財の有無や内容、あるいは工事計画の影響を調べるため、遺跡の一部を発掘する「**試掘・範囲確認調査**」を行います。また、工事計画の変更ができない場合、影響のある範囲の全面を調査する「**記録保存調査**」を行います。

遺跡を学術的に調べる大学や調査団の発掘調査もあります。県の指示などを受けて、保存されている遺跡をむやみに掘り尽くさないよう、必要最小限の発掘で行なわれます。

遺跡と地層

遺跡は遺構や遺物などから構成されています。この土地を掘り下げると「**地層の積み重なり**」が見えてきます。人類が登場する前にできた地層、人類が生まれてからこれまで幾重にも堆積してきた地層。その中に各時代の人々の生活のあとである遺構や遺物が隠れています。原始から現代まで、自然や人間の営みの影響を受けながら、かろうじて残っている遺跡。この地層の中に歴史や文化の証しが眠っているのです。



発掘調査の方法

①遺跡での調査

○ 遺構を探す

地層ごとに削って遺構を探します。黒っぽく丸く見えるのが建物の柱の跡です。埋まった土の色や感触の違い、遺物の有無を確かめながら、人々が地面に残した構築物や活動の痕跡を探していきます。



○ 遺構の調査

柱穴や墓跡など遺構の中に埋まった土を掘り出します。土器や骨のかけらに注意しながら、埋まっていった経過や遺構の構造を調べます。文化的な違いや共通性なども見えてきます。考古学の醍醐味の一つです。



○ 遺物を含む地層を掘る

遺構が掘り込まれた地層は、さらに古い時代の人々が暮らしていた地層です。その時代の遺構や遺物を調べながら地層を掘り下げしていきます。住まいや祭りの跡、地形や自然の情報も詰まっています。



○ 記録をとる

ただ単に遺構や地層を掘り下げていくのではなく、遺構や遺物が出てきた様子を写真や図面に記録します。遺跡がなくなっても遺跡のことが分かるように詳細な情報を後世に残します。



②遺物の整理

○ 遺物を洗う・注記

出土した土器や石器等の遺物はブラシを使ってやさしく水洗いします。土器の中にはもろい物やオコゲの付いた物もあるため注意が必要です。その後、遺物の登録番号を書き込みます。



○ 接合・復元

土器はたいてい割れた状態で出土するため、ボンドでくっつけたり、石膏などで補って元の形へと復元します。ジグソーパズルのような勘とコツが必要です。



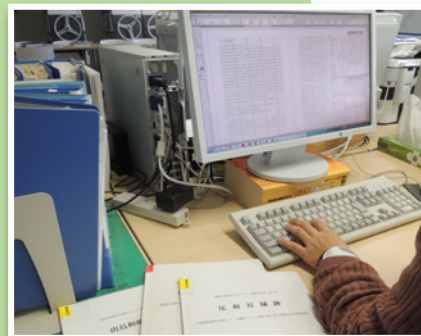
○ 遺物の実測

遺物の外面や内面、断面、表面・裏面・側面などの図面を描きます。遺物の形や加工の痕跡などを線で表現します。特徴を観察しながら実際に測っていく細やかな作業です。



○ 報告書の刊行

遺物の実測図は、遺跡で記録した写真や図面の記録とともに「発掘調査報告書」にまとめられます。報告書を見ることで日本や海外の他の遺跡と比べることもできます。歴史や文化を詳しく解き明かす資料となるのです。



あなたの まちの 遺跡

佐世保市・平戸市・松浦市
東彼杵町・川棚町・波佐見町
佐々町

① 狸山支石墓群 たぬきやましせきぼぐん (佐々町松瀬免)



大きな石をのせた支石墓

縄文時代の終わり頃から弥生時代の初めにかけて、朝鮮半島から九州の西北部に伝わったお墓です。甕棺や石棺の上に大きな石（上石）をのせるのが特徴です。上石の下には長さ50cmから1mに満たない石棺が見つかり、ひざを強く曲げて埋葬する縄文時代の方法だったことがわかっています。

② 里田原遺跡 さとたばる (平戸市田平町里免)

木で作った道具の工房跡

水田の中で確認された弥生時代の遺跡で、木で作った鍬や斧の柄など製作過程の分かる道具が多く残っていました。また、支石墓や甕棺墓も見つかり、甕棺墓の中には全国でも10数枚しか出土していない朝鮮半島系の青銅鏡である多紐細文鏡が供えられていました。

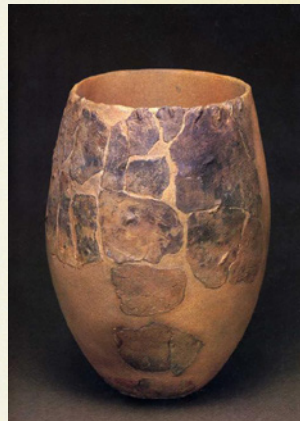


▲多紐細文鏡

③ 泉福寺洞窟 せんぷくじどうくつ (佐世保市瀬戸越)

世界最古級の「豆粒文土器」

佐世保市には洞穴の遺跡がたくさんありますが、泉福寺洞窟は世界最古級の1万3千年前の土器が発掘されたことで有名です。土器の上部に豆粒状の粘土が貼り付けられていることから「豆粒文土器」と名づけられました。土器の発明によって「煮る」調理ができるようになり、食べられるものが増えて食生活が大きく変化しました。

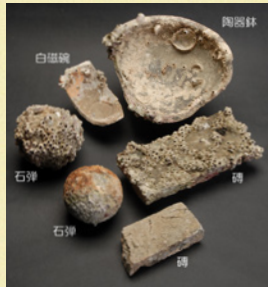


たかしまかいてい
④ 鷹島海底遺跡 まつうらしたかしまちようこうざきめん
(松浦市鷹島町神崎免)

元寇で沈んだ軍船を発見！

対馬・杵岐や博多と同じく元寇の戦場となった鷹島では、海底で行われた発掘調査で元軍の武器である「てつはう」や刀、かぶと 冑や磚せん (レンガ) など多くの遺物が見つっています。

そして、2011年には形の分かる元軍の軍船が発見されました。



▲ 2号沈没船 (琉球大学・松浦市教育委員会提供 / 撮影・編集: 町村剛)

ひぜんはさみとうじきかまあと
⑤ 肥前波佐見陶磁器窯跡 はさみちようむらきこう
(波佐見町村木郷ほか)

江戸時代に始まった焼き物の一大産地

江戸時代の初め頃に日本で最初の磁器が作られ、波佐見町では30か所を超える窯跡が見つっています。中でも特に古い畑ノ原窯跡は連房式登窯と呼ばれ、れんぼうしきのほりがま 燃焼部の窯室が24室ほど連なっており、50m以上になります。波佐見で作られた「くらわんか茶碗」は江戸や大坂でたくさん使われました。



あそぜ
⑥ 麻生瀬遺跡 かわたなちようあそぜ
(川棚町麻生瀬)



板状の石で組んだ箱式石棺

川棚川流域にある遺跡で、弥生時代中頃のお墓がたくさん見つかりました。板状の石で組んだ箱式石棺墓は弥生時代の長崎県で特に多いお墓です。石棺の長さは1.2m未満と短く、ひざを曲げて埋葬する縄文時代の方法が続いていたようです。

ひがしそのぎちようそのぎしゆくこう
⑦ ひさご塚古墳 (東彼杵町彼杵宿郷)

県内最大級の前方後円墳



西に大村湾を見渡せる海沿いにあります。東側の山を越えれば佐賀平野と行き来することができる交通の重要地点です。海に漕ぎ出せば、湾の出入り口である早岐から東シナ海や玄界灘へとつながっています。全長58.8mと県内本土最大級の前方後円墳はこの地を治めた有力者の墓と考えられています。この要地の目印にもなっていたことでしょう。

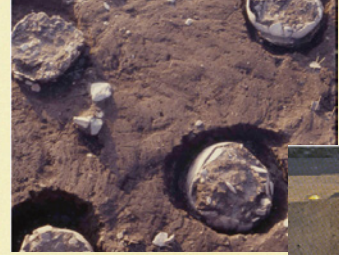
あなたの まちの 遺跡

島原市・諫早市・大村市
雲仙市・南島原市

① 黒丸遺跡 くろまるいせき おおむらしくろまるちよう (大村市黒丸町周辺)

狩猟・採集から稲作へ

郡川によって作られた扇状地にある遺跡です。主にドングリ貯蔵穴や石器などの縄文時代の遺構・遺物と、木製農具や矢板といった稲作の痕跡、つぼかんぼ壺棺墓という日常に用いる土器で作られたお墓などの弥生時代の遺構・遺物が見つっています。



つぼかんぼ
▲壺棺墓



うめがめ
▲埋甕

⑤ 百花台遺跡 ひゃっかだいせき うんぜんしくにみちようかなやまみよう (雲仙市国見町金山名)

西日本を代表する旧石器時代遺跡



黒曜石などで作られた石器。狩猟具や刃物として利用していた。

今から3万年以上前の旧石器時代に人が暮らしていた痕跡が見つっています。この遺跡の調査によって、使用していた石器の形が地層ごとに変化していることが裏付けられ、旧石器時代の研究が大きく進展しました。

④ 原城跡 はらじょうあと みなみしまばらしみなみありまちようつ (南島原市南有馬町乙)

島原の乱でのキリシタンの本拠地



1637年に起こった日本史上最大規模の一揆である「島原の乱」の際に、天草四郎らキリシタンたちが立てこもった城です。

発掘調査の結果、刀傷のある多くの人骨のほか、十字架・メダイ・ロザリオ等のキリシタン関係の遺物が数多く見つっています。



ながとおにつかこぶん
2 長戸鬼塚古墳

いさはやしこながいちろうおがわはらうら
(諫早市小長井町小川原浦)



▲線刻画のある石室



▲石室内に彫られた線刻画

クジラ漁の様子が 刻まれた古墳

有明海に面する丘陵の先端にある古墳で、7世紀前半（今から1,400年前）に造られたと思われます。

石室にはクジラや舟の線刻画が彫られていますが、このような絵が描かれた線刻画の石室をもつ古墳は長崎県では3基しか見つかっていません。

その中でも特にキレイなまま残っているこの古墳の線刻画は、当時の諫早地域の様子を今に伝える貴重な資料です。

おおのぼるいせき
3 大野原遺跡

しまばらしありあけちょうおおみさき
(島原市有明町大三東)

縄文時代の土器を大量生産！

10万点を超える縄文時代の遺物が見つかっています。また、多数の粘土貯蔵穴や土器を焼いたと思われる痕跡も見つかっていることから、この場所では当時、土器作りを行っていたと考えられます。



あなたの まちの 遺跡

長崎市・五島市・西海市
長与町・時津町・小値賀町
新上五島町

かみのさきいせき ① 神ノ崎遺跡 (小値賀町黒島郷)

黒島には多くの石棺が！



いたいしづみせつかんぼ
▲板石積石棺墓



ちようじがしらまがたま
▲丁子頭勾玉

弥生～古墳時代の遺跡で小値賀島に隣接する黒島にあります。石棺が多数発見されており、九州では出土例の少ない板状鉄斧や陶質土器・丁子頭勾玉なども出土しています。また、九州南部でしか分布が知られていない特殊な構造のお墓である板石積石棺墓などが発見されています。

かしらがじましらはいせき ② 頭ヶ島白浜遺跡 (新上五島町友住郷)

朝鮮半島との文化交流があったかも？



▲韓国新石器時代早期の土器

縄文時代・江戸時代の遺跡で、すぐそばには頭ヶ島天主堂（国重要文化財）が建っています。縄文土器や石器、近世のお墓などが見つかっていますが、特に韓国新石器時代早期の土器は五島列島初の出土で、朝鮮半島との交流を示す貴重な資料です。



まえしまこふんぐん ⑥ 前島古墳群 (時津町子々川郷)



▲箱式石棺

島につくられた共同墓地

前島・嶽島の2つの島にある墳墓群です。島には古代人が生活した跡は見つかっておらず、島全体が墓地として使われていたようです。石棺の中には副葬品の壺がほぼ当時の形のまま残っていました。

ちゃえんいせき ③ 茶園遺跡 (五島市岐宿町岐宿)

長崎県最西端の旧石器時代遺跡



いしやり
▲石槍

遺跡には4つの文化層があり、その層ごとに異なる石器群が発見され、旧石器時代から縄文時代への移り変わりを知ることができる貴重な遺跡です。

いしなべせいさくしよいせき
④ ホゲット石鍋製作所遺跡 (西海市大瀬戸町瀬戸羽出川郷)

古代から中世にかけて日本中に流通した石鍋の一大生産地



大小 11 か所からなる国内最大規模の石鍋製作所跡です。

石鍋は主に煮炊きに使用された道具で、滑石かつせきという軟質で加工しやすく保温性に優れた石でつくられています。古代・中世の日本各地に広く流通していました。遺跡名にあるホゲットとは、長崎弁で穴があくという意味のほげる（ほげとる）からきています。

つば
 銚子を作り出したら
 研磨して完成！



ながよさらやまかまあと
⑤ 長与皿山窯跡 (長与町嬉里郷)

ながよさんさい
 幻のやきもの「長与三彩」



▲玖島城跡から出土した長与三彩

長与皿山窯は 1712 年に開窯された大村藩の窯跡です。そこでつくられたといわれる長与焼は『大村郷村記』の中で「珍敷焼物」と紹介されています。特に長与三彩は、大変珍しい焼物だったようで、現在でも出土例がありません。

ながさきぶぎょうしよあと
⑦ 長崎奉行所跡 (長崎市立山・江戸町)

近世長崎を代表する遺跡

江戸時代、幕府は外国との貿易を行う窓口として重要だった長崎を天領にし奉行所を置いていました。長崎奉行所は今でいう県庁・警察・裁判所といった役割のほかに、中国やオランダとの貿易の管理や長崎港の警備も行っていました。現在の旧長崎県庁（西役所）と長崎歴史文化博物館（立山役所）の 2 つの場所にありました。



蓋付き青花鉢 (チュリーン)

国内では 2 例しか出土していない珍しい青花鉢。



▲正門の階段



花十字紋瓦

奉行所が作られる前、キリスト教会が建っていた可能性を示す資料。

あなたの まちの 遺跡

対馬市・壱岐市

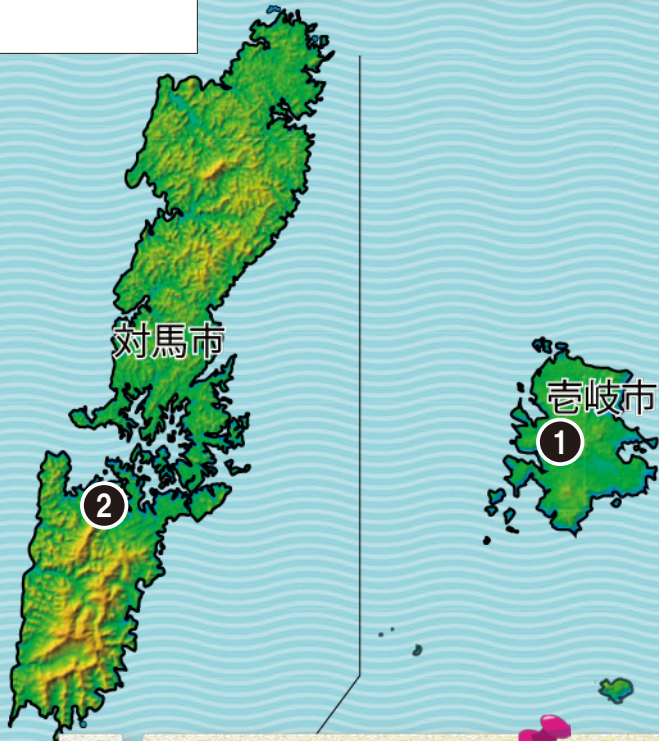
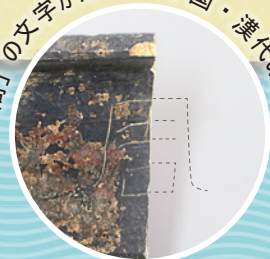
① カラカミ遺跡 いきしかつもとちょうたていしひがしふれ (壱岐市勝本町立石東触)

日本最古がゾクゾク見つかる遺跡



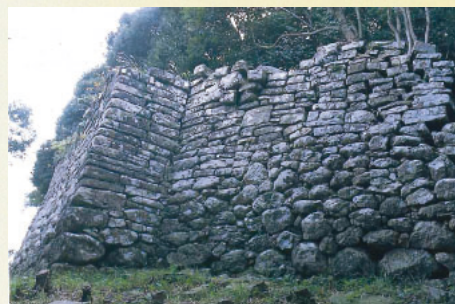
原の辻遺跡と関連のあった集落跡だと考えられている遺跡です。大規模な農耕は行わず、漁や交易を生業としていたと思われます。これまでの調査によって、日本最古のイエネコの骨や日本最古の文字の彫られた土器が見つかっています。

「周」の文字が彫られた中国・漢代の土器



② 金田城跡 かねだじょうあと つしまみつまちょうくろせ (対馬市美津島町黒瀬 周辺)

倭国の国境防衛拠点



▲櫓台が設置されていたノ城戸の石垣

7世紀後半（今から約1,300年前）に唐（現在の中国）や新羅（現在の朝鮮半島）からの侵攻を防ぐため築かれたお城です。朝鮮の技術を取り入れてつくられた「朝鮮式山城」と呼ばれています。山頂を取り巻くように、尾根に沿って長さ約2.8kmの石塁が造られました。

Chapter4

あなたのまちの 埋蔵文化財 関連資料館

長崎市

長崎市深堀貝塚遺跡資料館
〒 851-0301 長崎市深堀町5丁目 165

サント・ドミンゴ教会跡資料館
〒 850-0028 長崎市勝山町 30 番地 1 (桜町小学校内)

長崎歴史文化博物館
〒 850-0007 長崎市立山町 1 丁目 1 番 1 号

長崎市埋蔵資料館
〒 850-0911 長崎市東山手町 6 番 25 号

長崎市歴史民俗資料館
〒 852-8117 長崎市平野町 7 番 8 号 (長崎市平和会館地下 1 階)

長崎市外海歴史民俗資料館
〒 851-2322 長崎市西出津町 2800 番地

佐世保市

佐世保市うつわ歴史館
〒 859-3151 佐世保市三河内本町 289-1

佐世保市小佐々郷土館
〒 857-0412 佐世保市小佐々町西川内 143 番地 5

佐世保市博物館 島瀬美術センター
〒 857-0806 佐世保市島瀬町 6 番 22 号

佐世保市宇久島資料館
〒 857-4901 佐世保市宇久町平 2386

島原市

大野原遺跡展館「縄文の里」
〒 859-1415 島原市有明町大三東 1382 島原市有明文化会館グリーンウェブ内

諫早市

諫早市美術・歴史館
〒 854-0015 諫早市西小路地 774 番地 1

小長井文化ホール 郷土資料室
〒 859-0165 諫早市小長井町小川原浦 825 番地

平戸市

平戸城
〒 859-5121 平戸市岩の上町 1458-1

平戸市田平町里田原歴史民俗資料館
〒 859-4807 平戸市田平町里免 236-2

平戸市大島村ふるさと資料館
〒 859-5802 平戸市大島村前平 1456 番地 1

松浦市

松浦市立鷹島埋蔵文化財センター
〒 859-4303 松浦市鷹島町神崎免 146 番地

対馬市

豊玉町郷土館
〒 817-1201 対馬市豊玉町仁位 370 番地

峰町歴史民俗資料館
〒 817-1301 対馬市峰町三根 451

上対馬町歴史民俗資料室
〒 817-1701 対馬市上対馬町比田勝 575 番地

壱岐市

壱岐市立一支国博物館・長崎県埋蔵文化財センター
〒 811-5322 壱岐市芦辺町深江鶴亀島 515-1

五島市

岐宿資料展示室
〒 853-0701 五島市岐宿町岐宿 2535 (福江島総合開発センター2階)

五島観光歴史資料館
〒 853-0018 五島市池田町1番4号

西海市

西海市大瀬戸町歴史民俗資料館
〒 857-2303 西海市大瀬戸町瀬戸西濱郷 61-1

西海市西海歴史民俗資料館
〒 851-3504 西海市西海町黒口郷 488

雲仙市

雲仙市歴史資料館 国見展示館
〒 859-1303 雲仙市国見町神代丙 178-1

雲仙市南串山文化センターふるさと資料館
〒 854-0703 雲仙市南串山町丙 1515

南島原市

深江埋蔵文化財・噴火災害資料館
〒 859-1505 南島原市深江町 2102 番地

原城跡・日野江城跡発掘出土品展示室
〒 859-2412 南島原市南有馬町乙 1374 (原城文化センター内)

南島原市口之津歴史民俗資料館・海の資料館
〒 859-2502 南島原市口の津町甲 16 番 7

時津町

時津町民俗資料館
〒 851-2104 西彼杵郡時津町野田郷 62 番地 とぎつカナーリーホール内

東彼杵町

東彼杵町歴史民俗資料館
〒 859-3807 東彼杵郡東彼杵町彼杵宿郷 430-5 歴史公園「彼杵の荘」

小値賀町

小値賀町歴史民俗資料館
〒 857-4701 北松浦郡小値賀町笛吹郷 1931 番地

佐々町

佐々町郷土資料館
〒 857-0311 北松浦郡佐々町本田原免 123

長崎県 埋蔵文化財 センターの 役割

Nagasaki Prefectural Archaeological Center

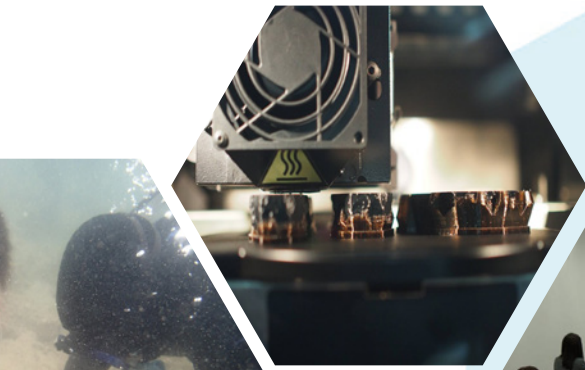


埋蔵文化財
保護行政の
中核機関

東アジア
考古学研究



- 原の辻遺跡の調査
- 東アジアに焦点をあてた調査研究
- 東アジア諸国の研究機関との連携
- 国際シンポジウムの開催
- 壱岐高校「東アジア歴史・中国語コース」の支援



- 国・県の公共工事に伴う発掘調査
- 水中遺跡の調査
- 遺物の精密分析・保存処理
- 埋蔵文化財担当者の研修
- 収蔵資料の閲覧・公開
- 情報発信・普及啓発・教育支援

埋蔵文化財を通じた 地域支援



- 一支部博物館のオープン収蔵展示やバックヤードツアー
- 体験学習「精密分析機器で調べてみよう」の実施

中核機関

埋蔵文化財保護行政の



1 国・県の公共工事に伴う発掘調査

当センターでは、国や県の公共工事に伴う県内遺跡の発掘調査を行なっています。国道・県道や新幹線、河川、庁舎・学校関連の工事計画に際し、分布調査や試掘・範囲確認調査などの予備的調査を行います。西九州自動車道建設や九州新幹線（長崎ルート）建設などの大規模な公共工事では、各地域に調査事務所を設け対応しています。

このほか、県内の埋蔵文化財専門職員が不在の市町で行われる発掘調査の支援も行っています。



▲西九州自動車道（松浦佐々道路）建設に伴う太田遺跡の発掘調査（松浦市）



▲尾和谷城跡の発掘調査（諫早市）



▲遺物整理作業

2 埋蔵文化財担当者研修

県内の埋蔵文化財担当者を対象とした会議や研修会を毎年開催しています。

開発部局・文化財保護部局担当者文化財基礎研修では、初任3年目までの担当者を対象に文化財保護の基礎的な考え方や事務手続き等を習得することを目的としています。



埋蔵文化財担当者専門技術研修では、発掘調査や出土品の保存・分析の方法を中心に、より専門的な埋蔵文化財保護の知識・技術を習得する場を提供しています。特に、当センターの特色である保存処理・精密分析機器を用いた研修に力を入れています。



3 収蔵資料の閲覧・公開

長崎県が実施した県内遺跡の発掘調査で出土した遺物を収蔵しています。現在は約15,000箱の遺物を収蔵しています。多くの研究者が資料の閲覧や調査に訪れています。また、出土品や記録写真の貸出なども行っています。



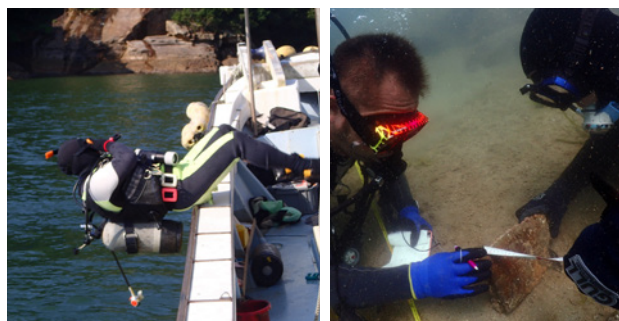
4 情報発信・普及啓発・教育支援

埋蔵文化財保護の大切さや、発掘調査・保存処理・調査研究など当センターの様々な活動を広く知っていただくために、発掘調査の現地説明会や一般向け刊行物、ホームページやフェイスブックを利用した情報発信を行っています。刊行物では一般を対象とした『南北市糶』や児童生徒を対象とした『キッズこうこがく』などを作成しています。



5 水中遺跡の調査

長崎県の面積は全国（47都道府県）で37番目の広さですが、島がたくさんあることから海岸線の距離は北海道に次いで2番目の長さをもっています。そのため、海の底に眠る水中遺跡も多く残っています。当センターでは、平成25年度から29年度の5年間で松浦市鷹島の南岸に残る鷹島海底遺跡の調査を実施しました。空気ポンペを背負った潜水作業により海底に残る遺物等の調査を行いました。



6 遺物の精密分析と保存処理



遺跡から出土したものを「遺物」といいます。遺物がもとの形のままで出るとはほとんどなく、なかでも金属製品や木製品は悪い状態で見つかります。人間で例えるとけがや病気になったような状態で発見されるのです。

そこで、当センターでは、発掘された遺物をよりよい状態で後世に残し、また展示・活用できるようにするため、遺物を元の状態に近づける「保存処理」という作業を行っています。保存処理は、病院でお医者さんが診察をして、治療や手術をすることに例えることができ、また治療後の検診（アフターケア）も実施しています。

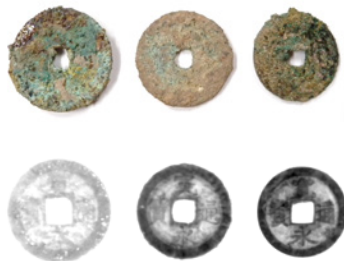
ここからは、保存処理の3つの部屋と各部屋にある機器を紹介します。

1 精密分析室

保存処理前に診察をする機器が揃っています。どういった材質でできているのか、どのような構造をしているのか、どのくらい劣化しているのかを調べた上で、使用する薬品や処理方法を決めます。

透過X線撮影装置

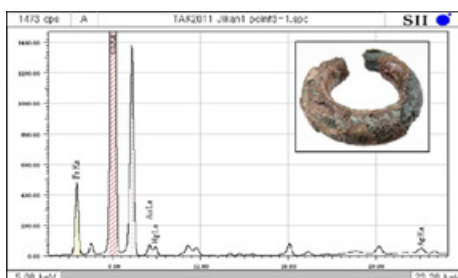
胸部レントゲン写真と同じくみで遺物の形を観察する装置です。金属製品の保存処理にはなくてはならないものです。



▲ 出土銭（上）と、X線で撮影したもの（下）

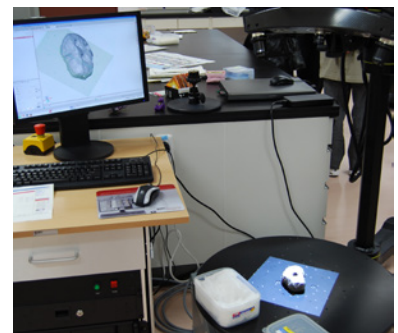
蛍光X線分析装置

金属製品やガラス製品、土器、石器、^{がんりよう}顔料などの材質を調べるための装置です。材質によって保存処理のやり方や使う薬が違うため、とても大切な調査となります。



三次元計測器

遺物の形を立体的に測ってデータをとる機械です。



3Dプリンタ

三次元計測器で測ったデータをもとにして、立体的なものを作る機械です。レプリカを作るのに役立っています。



2 木製品保存処理室



遺跡から発掘される木製品はスポンジのようにプヨプヨの状態
で出土します。そのまま乾燥させると元の形がわからなくなるほ
ど収縮し、崩壊してしまいます。

そのため特殊な樹脂を木製品に浸透させる機械や、カップ
ラーメンを作る機械を応用して、保存処理を行っています。



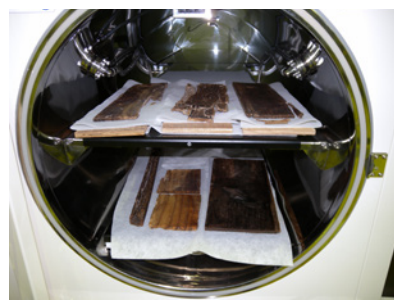
▲乾燥とともに収縮してしまう木製品



PEG含浸装置



真空凍結乾燥機



3 金属製品保存処理室

遺跡から出土する金属製品の多くは、錆でおおわれ元の形がわからない状態で出土します。表面の錆や砂などの異物
を取り除いたり、これ以上錆びないように錆びる要素<塩化物イオン・水分・酸素>を取り除き、特殊な樹脂でコーティ
ングします。



錆取り装置



脱塩処理装置



東アジア 考古学研究

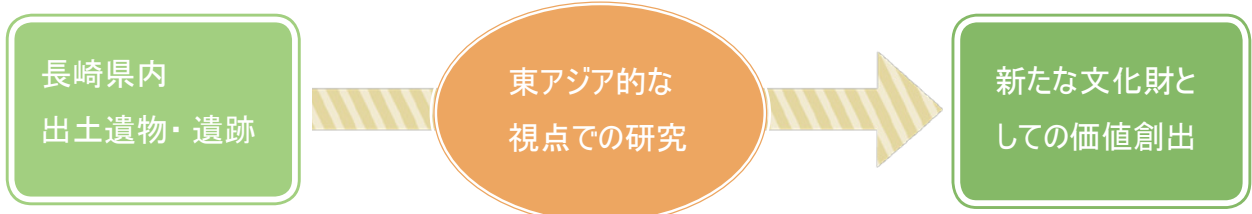


1 原の辻遺跡の調査

原の辻遺跡は弥生時代の大規模環濠集落です。環濠（集落をめぐる堀）、住居跡、甕棺墓や石棺墓などの墓地、護岸遺構などのほか、船着き場跡や多数の大陸系遺物が発見されており、東アジア世界との交流の拠点でした。『魏志倭人伝』に登場する一支国の中心地であったことが特定されており、平成12年に国の特別史跡に指定されました。現在も遺跡の範囲や内容を確認するために、継続して毎年、発掘調査を実施しています。



2 東アジアに焦点をあてた研究



当センターには全国で唯一の「東アジア考古学研究室」を設置して、東アジア的視点での調査・研究を行っています。長崎県では東アジア関連資料が多数発見されており、交流があったことはわかっていましたが、当研究室では一歩進んでその交流の内容や具体像に迫る研究を行い、新たな文化財としての価値を創出することで地域振興に寄与することを目指しています。

右の写真の原の辻遺跡出土帯状青銅製品は発見当初、用途や詳細な年代などはわかっていませんでしたが、研究の結果、同様の遺物が中国・遼寧地域の墓地で出土していることがわかり、後漢前期（紀元後一世紀）の遼東地域からもたらされた銅釧（腕輪）であることが判明しました。これまでの出土は原の辻遺跡が唯一であり、遼東地域との深い交流関係を示す貴重な資料です。



近年の研究成果
中国・遼東系銅釧の発見！

3 東アジア諸国の研究機関との連携

平成 27 年に当センターは韓国・釜山博物館と友好交流機関協定を締結し、相互に職員を派遣し、発掘調査に参加したり、共同で資料調査を実施したりしています。長崎県と釜山市では相互に関連のある資料が出土していますが、日韓の研究者双方の目で、同時に検討することで、交流の実態が明らかになってきました。また、中国・東北地方を中心とした研究機関とも連携を深めています。



4 国際シンポジウムの開催

東アジア的視点での最新の研究成果を、「東アジア国際シンポジウム」として公開しています。これまで魏志倭人伝や環濠集落、交易、祭祀、製鉄、貨幣、支石墓などをテーマに、韓国・中国の研究者も招聘してパネルディスカッションなどを行ってきました。今後も毎年新たなテーマで研究の深化を図っていきます。



5 壱岐高校「東アジア歴史・中国語コース」の支援

長崎県立壱岐高等学校では、離島留学制度を採用し、「東アジア歴史・中国語コース」を開設しています。コースの歴史学専攻は、考古学・歴史学の専門的な知識や技術習得を目的としており、当センターでは原の辻遺跡に関する講義や発掘をはじめとする考古学研究の基礎的実習など、年間 30 時間を越える授業支援を行っています。



遺跡現地で、遺物を表面採集し、黒曜石の原産地分析や石器製作実験を踏まえて考察した研究論文の作成を支援しました。その論文は平成 29 年度の全国高校生歴史フォーラム（奈良大学主催）において見事、優秀賞を受賞しました！

近年の成果
「壱岐市馬立海岸遺跡の研究」

地域支援

埋蔵文化財を通じた



1 一支国博物館オープン収蔵展示

当センターは、壱岐市立一支国博物館と一体的に設置されています。その強みを活かした取組のひとつが、「オープン収蔵庫」です。

このオープン収蔵庫には壱岐市内だけでなく長崎県内の遺跡からの出土品が収蔵されており、高さ5mにもなるガラス張りの壁越しにその膨大な収蔵量を見ることができます。豊富で多彩なこの遺物量を活かし「オープン収蔵展示」として収蔵遺物の一部を紹介する企画展を定期的に行っています。



昔の人の暮らしを想像させるような「産業別」の展示、時代とともに変化する衣服の装飾性に注目した「女性の装い展」や、人の生活に寄り添うお酒についてその器から各時代を振り返る「お酒の器展」など、埋蔵文化財をより身近に感じてもらえるよう様々なテーマでの企画展示を行っています。



2 一支国博物館バックヤードツアー

当センターに併設されている一支国博物館では、毎月第3土曜日に「バックヤードツアー」をセンターと共催で実施しています。普段は入ることの出来ない保存処理施設や、膨大な量の遺物を収蔵している出土品収蔵庫などをセンター職員や博物館スタッフが説明しながら案内しています。



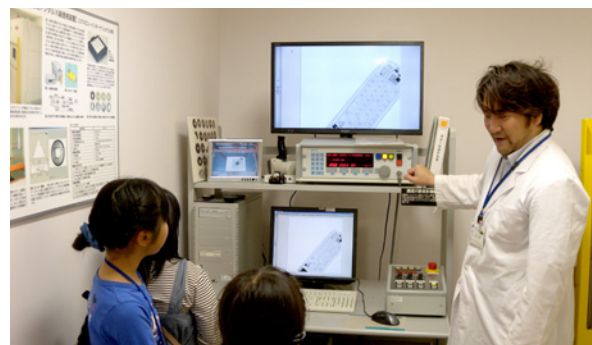
▲木製品保存処理室の案内

3 精密分析機器で調べてみよう

当センターに設置している精密分析機器を用いた体験学習を年間10回程度実施しています。普段、出土品の調査や分析に使用している機器を用いて、身近なものを観察・調査することで、新たな発見が見られると思います。顕微鏡を用いてお金を拡大観察したり、透過X線撮影装置を使ったクイズを出したり、赤外線カメラを使ったマジックも好評です。



▲千円札を顕微鏡で拡大観察すると…!?



▲透過X線撮影装置で、ある日用品を撮影

長崎県埋蔵文化財センター

○施設概要

敷地面積：約18,600㎡

延床面積：約7,800㎡（一支国博物館を含む）

主な施設

木製品保存処理室（348.5㎡）金属製品保存処理室（83.8㎡）精密分析室（98.8㎡）

出土品収蔵庫（1418.8㎡）記録類収蔵庫（173.6㎡）撮影室（53.2㎡）

県調査室・事務室（152.1㎡）東アジア考古学研究室（58.1㎡）図書閲覧室（40.5㎡）

図書所蔵庫（147.3㎡）キッズこうがく研究所（99.7㎡）多目的ホール（234.3㎡）

○沿革

平成12年11月 原の辻遺跡が国の特別史跡に指定される（弥生時代の遺跡では登呂遺跡、吉野ヶ里遺跡に次いで全国で3番目）

平成14年1月 杵岐郡の全4町長が長崎県知事に県立埋蔵文化財センターの設置を陳情

平成15年2月 長崎県知事が長崎県議会において、県全体の埋蔵文化財保護行政の推進母体となる埋蔵文化財センターを杵岐に建設することを表明（離島での設置は全国初）

平成17年3月 「長崎県埋蔵文化財センター・杵岐市立一支国博物館（仮称）整備基本計画」の策定

平成18年5月 整備・運営事業者選定

平成18年7月 建築設計業務委託契約締結

平成18年8月 展示設計業務委託契約締結

平成18年11月 敷地造成工事着工

平成19年3月 建築・展示実施設計完了

平成20年4月 建築工事着工

平成21年8月 建築工事竣工

平成22年1月 長崎県埋蔵文化財センター設置

平成22年3月 杵岐市立一支国博物館と同時に開所

平成27年5月 釜山博物館と友好機関協定締結



長崎県の埋蔵文化財ガイドブック

平成31年（2019年）3月25日 第1版発行

発行：長崎県埋蔵文化財センター

〒811-5322 長崎県杵岐市芦辺町深江鶴亀触515-1

電話：0920-45-4080 FAX：0920-45-4082

<http://www.nagasaki-maibun.jp/>

Facebookによる情報発信も行っています。

資料引用・提供・協力

国土地理院、佐世保市教育委員会、島原市教育委員会、大村市教育委員会、平戸市文化観光商工部文化交流課、松浦市教育委員会、対馬市教育委員会、杵岐市教育委員会、雲仙市教育委員会、南島原市、長与町教育委員会、東彼杵町教育委員会、川棚町教育委員会、波佐見町教育委員会、小値賀町教育委員会、新上五島町教育委員会、琉球大学